

## 「胸部外科」特集原稿募集

2026年9月号（79巻9号）において標記のテーマの特集を行いますので奮ってご応募ください。

### テーマ

## 低侵襲僧帽弁形成術の現状

当初、縦隔炎の予防や出血量の軽減を目的として始められた直視による右（小）開胸僧帽弁形成術は、機能性の高い内視鏡手術機器・開胸器・リトラクターの登場により胸腔鏡下手術へ移行してきた。最近では、手術支援ロボットである daVinci（Intuitive Surgical 社）の導入や、弁縫合糸の結紮を省略可能とする COR-KNOT（バイタル社）の登場により、小切開のみで手術を完結させる低侵襲手術が可能となってきた。同時に、ゴールドスタンダードである胸骨正中切開で培われた多くのノウハウと合併症回避の tips の多くが、右小開胸手術では必ずしも容易ではないことも、よく知られるようになった。

本特集では、日本国内で実施される僧帽弁形成術の 30% 以上で行われるようになった右小開胸低侵襲僧帽弁形成手術の現状を、広く若手外科医を中心に共有することを目的として企画した。プロトコルが確立された熟練施設に加え、安全性や操作性を高める工夫をすすめている新規施設の多くから、遠隔成績の現状、術中の留意点、施設独自のノウハウと tips、さらにトレーニングプログラムの状況などについて精力的な投稿をお願いしたい。

『胸部外科』編集主幹 小野 稔、千田雅之

\*

\*

\*

- **内容**：臨床と研究，臨床経験などテーマに沿ったもの
- **応募方法**：予定タイトル，著者名，施設名，ミニ抄録を 400 字詰原稿用紙 1 枚に収めて **2026 年 1 月 30 日（金）** までにお送りください（**E-mail でも構いません**）。  
編集委員会で採否を決めさせていただき，2026 年 2 月末日までにご連絡いたします。  
なお採用論文は下記のとおりご執筆をお願いいたします。
- **原稿枚数**：400 字詰原稿用紙 12 枚以内（英文 summary を含む），図表 6 枚以内
- **原稿締切日**：2026 年 4 月 30 日（木）
- **掲載号**：『胸部外科』79 巻 9 号（2026 年 9 月号）

宛先：☎ 113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42-6 （株）南江堂『胸部外科』編集室  
TEL：03-3811-7619／FAX：03-3811-8660／E-mail：pub-jt@nankodo.co.jp